

かわらかべ

蘇える土の記憶

瓦は、雨や風、日射など自然界の過酷な状況から建物を守る優秀な建材です。

瓦の強さをそのままに、塗り壁材の骨材として使用したものが「かわらかべ」です。適度な調湿性と断熱性を持ち、ひびが入りにくい安定性の高い左官仕上げ材です。

土の呼吸を感じて思わず触れてしまう、そんな素材感があります。土から生まれた自然素材。だから人や環境に無害です。



かわらかべ

Kawarakabe

Modern material from traditional Japanese craft.

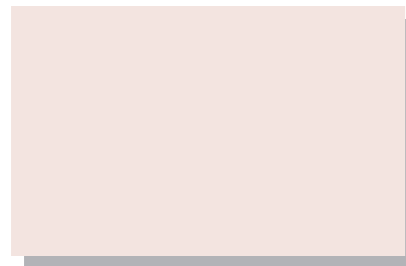


株式会社ニーノジャパン
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-19-14 第21ホリビル4階
TEL.03-3404-2291 FAX.03-3404-5710
WEB PAGE: <http://www.nino-jpn.co.jp/> E-MAIL: info@nino-jpn.co.jp

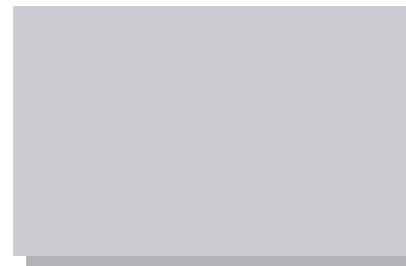


・基準色

「かわらかべ®」は日本の伝統色より、基準色・全9色を用意しております。下の印刷色をご参考にお考えいただき、実際の色は塗り見本でご確認ください。



亜麻色(あまいろ)



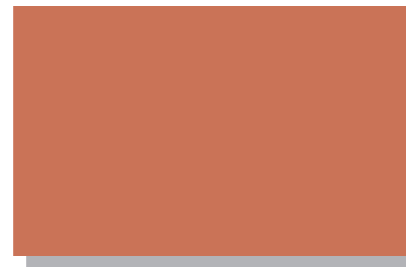
燻色(いぶしいろ)



黄椽(きつるばみ)



胡桃色(くるみいろ)



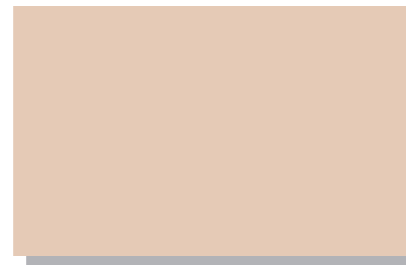
洗朱(あらいしゆ)



杏子色(あんずいろ)



丁子茶色(ちょうじちゃいろ)



香色(こういろ)

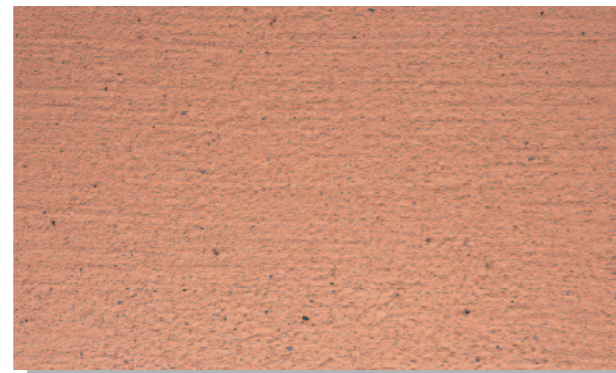


駱駝色(らくだいろ)

・各種仕上げパターン



こて押え



筋引き



かき落とし



刷毛引き (藁入り)

「かわらかべ®」は素朴で温かい土の魅力を引き出した左官仕上げ材です。

特長

- ・瓦は土を約1100~1300℃で焼き固めた、丈夫な建材です。瓦骨材には調湿性があり、室内環境を整えます。
- ・熱伝導率が小さく断熱性や結露防止に優れています。
- ・耐摩耗性に優れており、傷が付きにくい左官仕上げ材です。
- ・人体や環境に無害な自然素材です。

仕上げ

- ・左官の伝統技術を生かし、様々な表情を創出できる土壁材です。
- ・藁スサを加えることによって、和紙のような雰囲気仕上がりです。
- ・表面をかき落としたりふき取ることにより、瓦の釉薬部分が現れ釉薬瓦独特の表情が得られます。
- ・民家の土壁を思わせる落ち着きある和の空間づくりにはもちろん、土という無国籍な素材感で多様な演出ができます。

主成分

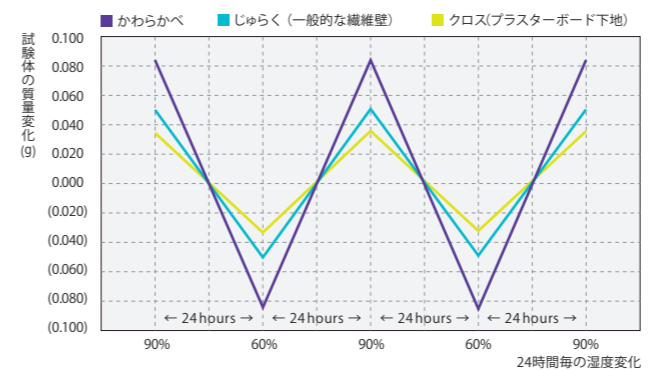
粉碎瓦、陶土、粉末ポリマー、無機顔料

注意事項

- ・+3℃~+35℃の間で施工してください。
- ・施工後0℃以下になる恐れがある場合には施工を避けてください。
- ・冬季に凍結中又は解氷中の塗下地には施工できません。
- ・強風、雨天時には施工できません。
- ・急激な乾燥を避けてください。
- ・平滑で均一な下地を作ることが大切です。
- ・本品は天然土が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。

吸放湿データ

測定条件：温度25℃相対湿度90%に24時間放置した状態
 温度25℃相対湿度60%に24時間放置した状態
 試験体サイズ 0.00785m²



輪島市地元材の家づくり推進協議会モデル住宅
 輪島市 設計：高木信治建築研究所

